

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 31 号
2008.12.20

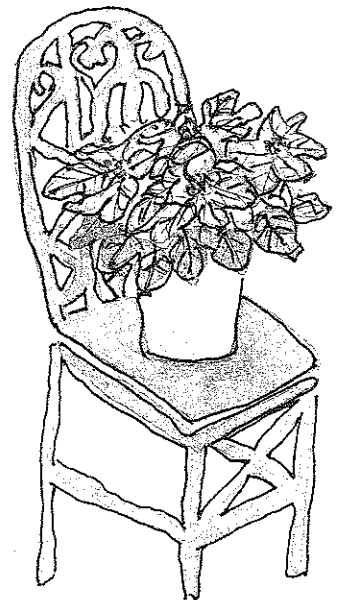
番号	書名	著者名	出版社	分類
1	女子の国はいつも内戦	辛酸なめ子	河出書房新社	1101 シ
2	ヒラリーをさがせ!	横田由美子	文芸春秋	1401 ヨ
3	男は東に 女は右に 人生が大きく変わるとき!	サブラ・E・ブロック、ジョセフ・ F・ドゥーリー/著 阿尾正子/訳	主婦の友社	2110 オ
4	ガールズ ファイル 27人のはたらく女の子たちの報告書	柴崎友香	マガジンハウス	2205 シ
5	やさしさのスイッチが入るとき 中学生とシニアのホームヘルパー物語	土本亜理子	三輪書店	4102 ツ
6	きみの友だち	重松清	新潮社	6102 シ
7	老いはじめた中国	藤村幸義	アスキー	8201 フ
8	ちょっとお金持ちになってみたい人 全員集合!	齋藤孝	PHP研究所	3210 サJ
9	世界はどうなっちゃうの? こわいニュースにおびえたとき	キャロル・シューマン/作 キャリー・ピロー/絵 上田勢子/訳	大月書店	5101 コ5J
10	まあ、なんてこと!	ディビット・スモール/作 藤本朝巳/絵	平凡社	6108 ス
11	ハリー・ポッターと死の秘密 上下	J・K・ローリング/著 松岡佑子/訳	静山社	6108 □1 6108 □2

ライブラリー

散 歩 道

テーマ

読書タイムは幸せタイム!(Ⅱ)
— こどもと共に —



編集後記
冬至が近づくと、風邪を引かないように「冬至かぼちゃ」を食べたものです。みなさんはもうお食べになりましたか?。冬至まであともう少し。日が短くなり、夜が長くなり、家族団らん時間がたっぷりですね!。これからはクリスマスやお正月も……。子ども達と絵本を囲んで話もはずむ事と思います。食後のデザートの一品にお気に入りの一冊を加えて「幸せタイム」を過して頂ければうれしいなと思います。

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00

(休館日 前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話

の使用はご遠慮ください。

発行者: 財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ~女と男の未来館~ Tel.0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 6108 ア

「イソップ寓話集」

編・アッシュ・ヒットン 訳・秋野翔一郎 童話館出版

この寓話集は、過去 150 年間にイギリス、ヨーロッパ、アメリカで出版された何百もの「イソップ寓話集」からえられたものです。「ウサギとカメ」「北風と太陽」など数多く入っており、挿絵も見ていて楽しくなりました。(T. Y.)

分類番号 6108 カ

「はらぺこあおむし」

エリック・カール・作 もりひさし・訳 偕成社

卵からあおむしになったあおむし君が、いろいろなものをたくさん食べてきれいな蝶になるというものです。カラフルな色使いで、こんなに色があつたのかと思うほどです。また、絵本の中にあいている穴、これもきっと子どもたちにはお気に入りでしょう。(K. M.)

分類番号 6108 ナ

「西の魔女が死んだ」

梨木香歩 小学館

中学校に行けなくなった一年生の「まい」。英国人のおばあちゃんと田舎暮らしをするなかで、生きる力を育んでいく。魔女になる修行として……。魔女！いい言葉だなあと感じてきました。映画化されています。ご覧になった方もいかがでしょうか。(A. K.)

分類番号 6108 ハ

「みんなで7だんね」

宮川ひろ・作 長谷川知子・絵 ポプラ社

物語の主人公は軽い障害を持ち、左手を使う遊びや運動が苦手な3年生の女の子。クラス全員で高い跳び箱に挑戦することになります。主人公を取り巻く仲よしの友だち・級友・担任の先生などの励ましや見守る様子がすてきです。さて何段まで跳べたでしょうか。(I. M.)

分類番号 6108 セ8

「十五少年漂流記」

ジュール・ベルヌ・原作 さとうよしみ・文
小野かおる・絵 世界文化社

世界の名作として読み継がれている作品の一つを選びました。この物語の中で国籍、ことば、年齢も異なる15人の少年たちが、無人島でぎりぎりの智慧と力を出し合い生き抜いていく様子は、現代の若い人たちの生活のヒントにもなると思われたからです。また、挿絵も新鮮で子供たちの表情が豊かでユーモラス。子どもが本来持っている強い生命力や知力を、大人はもっと真剣にみまもってやらねばと思う最近の社会の状況です。(I. M.)



《 図書室の散歩道紹介コーナー 》

分類番号 6108 シ

「ぼくを探しに」

シェル・シルヴァスタイン・作 倉橋由美子・訳 講談社

足りないかけらを探して、探して、探して、ついにぴったりのかけらを見つけた「ぼく」。見つけたら、歌えなくなっていたのに気づいた「ぼく」。かけらをそっとおろした「ぼく」。かけらって何？探すのはなぜ？ (A. K.)

分類番号 6108 カ

「ねえねえ、もういちどききたいな わたしがうまれたよること」

ジェイミー・リー・カーティス・作 坂上香・訳
ローラ・コーネル・絵 偕成社

女の子のお母さんは、産んでくれたお母さんではありません。女の子が産まれる前からそして産まれて病院に迎えに行った時のこと、産んでくれたお母さんの事、初めての子育ての事がユーモアたっぷりに描かれています。絵を見ているだけで心が伝わってくる一冊です。(K. M.)

分類番号 6108 オ

「4にんのこえがきこえたら」

おのりえん・ぶん はたこうしろう・え フレーベル館

ふー、まー、いー、うーの4人きょうだいは、仲がいいのかわるいのか、いつも大さわぎ。とうとうお母さんに外におい出されてしまいます。4人はそれぞれあそびを見つめますが、家に帰ってもやっぱりくっついたり離れてみたり、いつも4人の声がしています。どんなお話か聞いてみたいですね。画がたのしく、何度みてもあきません。(K. M.)



分類番号 5102 ヒJ

「いのちのおはなし」

日野原重明・文 村上康成・絵 講談社

95歳の著者が10才の、4年2組の30人に語りかけます。「いのちは、どこにあると思いますか？」30人はいっしょうけんめいに考えていきます。さあどこにあるのでしょうか。そして著者の日野原先生は何を言いたいのでしょうか。皆さんもこの本を読みながら、いっしょに考えていってください。(W. T.)

分類番号 6108 タ

「ねえだっこして」

竹下文子・文 田中清代・絵 金の星社

お母さんのおひざが大好きなねこちゃんです。赤ちゃんがいつもひざにいるけど、たまには少しでいいから、あとでいいから、待っているから、だっこしてほしいのです。(K. M.)

分類番号 2110 イJ

「14歳の君へ—どう考えどう生きるか—」

池田晶子 毎日新聞社

中学生の時代は一生の中で心もからだも劇的に成長していく時です。この本は、「君は、生きていくことはつらいことだと思っているだろうか」をわかり易い文章でエッセイ風にまとめてあります。友達のこと、自分のこと、勉強のこと、社会のこと、人生のこと、皆さんはいろいろと考えますね。いっぱい悩んでそして、ぜひこの本を読んで答えを探してください。(W. T.)

分類番号 6108 タ

「イクバルの闘い 世界一勇気のある少年」

フランチェスコ・ダダモ・作 荒瀬ゆみこ・訳
丹地陽子・絵 鈴木出版

パキスタンのじゅうたん工房で鎖につながれ、奴隷のように働かされる子どもたちを解放するために、勇気をもって立ち向かった実在の少年イクバルを中心に、ノンフィクションとフィクションをないまぜて児童労働の現実と自由獲得の困難な闘いを物語にしています。視野を広げるために、是非読んでください。(S. N.)

分類番号 6108 バ

「鹿よ、おれの兄弟よ」

神沢利子・作 G.D.バヴリーシン・絵 福音館書店

シベリアの森の猟師が、鹿を射ちとって妻子の待つ小屋へ帰る。ただそれだけの単純な物語の中に、「生きていく」ということの根元的な意味がこめられています。大胆かつ雄大な構図でありながら、静けさと繊細さに満ちた絵のすばらしいこと！その美しい色彩にも魅了されて、何度でも眺めたくなる絵本です。(S. N.)



☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	道遠くとも 弁護士相磯まつ江 法律を弱者のために使おう	川口和正	コモンズ	1203カ
2	反貧困「すべり台社会」からの脱出	湯浅誠	岩波書店	21061
3	図解まるわかり労働契約法	杉山秀文	かんき出版	2201入
4	パートタイム労働法Q&A	労働調査会出版局	労働調査会出版局	2201バ
5	現代世界の女性リーダーたち 世界を駆け抜けた11人	石井貴太郎	ミネルヴァ書房	1203イ
6	キャリア・バックメレム 男女格差のない社会	加・タ・バ ックメレム 坂東真理子	日本放送出版協会	1301ア
7	生活保護 VS ワーキングプア 若者に広がる貧困	大山典宏	PHP研究所	2105オ
8	お金のために死なないで 多重債務による自殺をなくす	弘中照美	岩波書店	2106ヒ
9	凡人として生きるということ	押井守	幻冬舎	2110オ
10	女性を活用できない会社に未来はない！	角直紀	講談社	2206ジ
11	人間関係で「キレそう！」になったら読む本	斎藤茂太	新講社	5101サ
12	比較は不幸のはじまり ないものねだりの心理学	高畑好秀	ソニー・マガジンス	5101タ
13	対人援助・生活相談サポートブック あれ？困った！どうしよう！？	神山裕美 木戸子	中央法規出版	5101タ

福島県男女共生センター図書室だより

第32号
2009. 3. 20

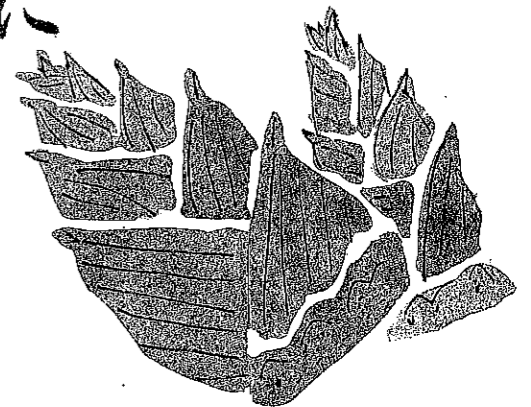
ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

発想をしなやかに

—変わるきっかけをつかもう—



利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00
(休館日前日9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記

一月中旬から二月中旬にかけて
沖縄県の石垣島に行ってきました。
縁があったこの時期に訪れる
ようになってから、今回で六年目
になります。お天気の日は午前中、
ホテルの宿泊仲間や地元の方達と
グラントゴルフの練習をします
が、地元の方達ともすっかり顔な
じみになり笑顔で挨拶を交わせる
ようになりました。沖縄独特のこ
とばや風習を教えてもらったり福
島の良さを話したり、一年一度のこ
の我が家の行事で一年の活力を貰
っております。(W.T.)

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

福島県男女共生センター ~女と男の未来館~Tel.0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 4208 コ

「コミュニティ・カフェをつくろう！」

WAC(社団法人 長寿社会文化協会)編 学陽書房

ちょっと立ち寄り、お茶(お菓子もついて)したいが、一人だし…気軽にしゃべりたいわ…そんな場所を作った話と作るノウハウが詰まっています。「人の役に立つビジネスがしたい」「高齢者の居場所が作れたら」。コミュニティカフェは、人と人を結ぶ地域の拠点になれる幾つもの事例が紹介されています。(A. K.)

分類番号 2205 又

図解あなたの「不安」を展望に変える!

「40歳からのキャリア戦略」

沼波正太郎著 新水社

最近の景気悪化に伴い生活不安、雇用不安、将来不安は大きくなっています。そんな時こそ、今までの生活を振り返り、これからの仕事に生きがいを持って暮らしていきたいですね。前向きに生きるための考え方や不安に対する処方箋をアドバイスしています。(T. Y.)

分類番号 2202 ス

「素敵にサイエンス研究者編」

一かがやき続ける女性キャリアを目指して一

鷹養映子 横山広美編著 近代科学社

理系! 聞くだけで縁遠い話だと思ってきました。高校時代タマネギの皮のスケッチから医療の道に進みアフリカ、アジアなどへ思いを広げたり、働きながら高校を出て地質学へ進んだり8人の女性の話です。私、理系って苦手かな…と思っている女子高生の皆さん、先輩の話聞いてみませんか。(A. K.)

分類番号 2204 オ

「突然、会社を辞めざるを得なくなったとき読む本」

奥村禮司・宮内恵子 明日香出版社

リストラ、解雇、倒産、転職志向等を次へのステップ、チャンスととらえ、前向きにその後の人生に一步を踏み出すために、知っておきたいことが網羅されている本です。知ると知らないのでは天と地ほどの違いがあります。自分の身を自分で守るために、基本的な知識を身につけて防衛力を高めましょう。(S. N.)

暗い気分が社会を覆っています。つい愚痴を言ったり、焦ったり、嘆いたりしがちです。でも、私たちはうろたえることなく、冷静に事態をみきわめ、やがて差す光を信じて行動したいですね。ここに紹介する本はどれも、自分の力を信じて積極的に行動したいと考えている方々に、勇気を与えてくれることでしょう。

分類番号 2204 ス

「未来を探そう！」

一立ちすくむ若者たちと戸惑う大人たちへのメッセージ

鈴木紀子 ごま書房

この本の136、137の両ページに金子みすゞの詩、「私と 小鳥と 鈴と」が紹介されています。その結びの行は「みんなちがって みんないい」。若者も大人も人の欠点ばかりあげつらうのではなく、それぞれいいところを受け止め、認めあって、かけがえのない人生を真面目に生きていこう、どんな時代でもそれしか道はないのだということをも肩肘はらずに書いている本です。(S. N.)

分類番号 2209 ヤ

「田舎のヒロインが時代を変える」

やまざきようこ 家の光協会

一都会を支えるのは田舎、田舎を支えるのは都会。大地に立ち、食べ物を作っている農村の女性たちこそが、都会と田舎を結び役割を果たせるはず一の思いで、NPO法人(「農村女性のネットワーク」)を立ち上げた女性たちのさまざまな活動が描かれています。ドイツの農業から学び、理想とする農場作りをめざして、日本各地の女性と交流する様子がエネルギーで、興味をそそられます。

特に後半の章では、牛乳の生産や加工に関する運動で、女性の連携パワーが大企業を動かしていく経過に迫力があります。草の香りのする(有機栽培えさをを使用した)乳製品や肉を消費者に届けたいという強い思いが伝わってきます。

また、四季おりおりの空や雲のようす、動物とのふれあいなどほっと心安らく文章にも出会えます。(I. M.)

分類番号 2205 ウ

「ビジネス・マナーが3時間でマスターできる」

一人とのつながりを大切にすることを基本一

浦野啓子 明日香出版社

「コミュニケーションマナー・人間関係力」(例・初訪問先での自己紹介のあいさつ、社員食堂での会話)、「ビジネスマナー・仕事能力」(例・報告の手順、他の人への電話を受けたときの対応)、「ビジネスマナー・接客能力」(例・応接間に案内する、名刺の渡し方)、「ビジネスマナー・お付き合い常識」(例・ワイングラスの持ち方、友人の結婚式でのスピーチ)。まさに、マナーの基本が紹介されていて、すぐに使えるマナーばかりです。(T. Y.)

分類番号 3206 モ

「父親だからできること」

一威張らない、媚びない子育ての秘訣一

毛利子来 ダイヤモンド社

筆者は小児科医院を開業するお医者さんです。父親としての存在・あり方、子育ての理念と対処法などを“子育てなんでも相談室Q&A”という形で40例にわたり述べております。更に“考察編”として父親という存在とそのあり方についてもまとめておりますが、子育ては母親という時代に育った私などはとても新鮮で興味深く読むことができました。新米パパや成長期の子どもさんを持つお父様達に指針と自信を与えてくれる本だと思います。(W. T.)

分類番号 2206 タ

「仕事を愉しむ」

一若者男女24人の独立・起業物語一

高任和男 日経BP社

この「仕事を愉しむ」とは「日経ベンチャー」という雑誌に「夢を追う人たち」のタイトルで二年間24回連載された企業家探訪記を一冊の本にしたものです。若者男女24人の独立企業物語で24人の中には、本のリサイクル事業で、古本と森の交換システムで古書の在庫が106万冊を突破したという只見町のたもかく株式会社吉津耕一さんも載っておりました。

「いったいいつになったら、世の中良くなるんだろう」と嘆きつづける人たち。景気が回復すれば、自分も幸福になると思っている人たちだ。だが、そうだろうか…?と著者のまえがきにありました。まさに、いまの時代、若者男女に読んで頂きたい一冊です。仕事を愉しみ、楽しく生きるヒントにして頂ければと思います。(K. M.)

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	老春も愉し 続・晴美と寂聴のすべて	瀬戸内寂聴	集英社	1202ㇿ
2	「熟年結婚」おつなもの	負け犬返上委員会/編	清流出版	3101ㇿ
3	死ぬまで笑う生き方 「古い支度」をしながら思うこと	岡田信子	光文社	3101ㇿ
4	やっぱりあぶない、有料老人ホームの選び方	NPO法人ニテック研究所	三五館	4101ㇿ
5	高齢ドライバー・激増時代 交通社会から日本を変えていこう	所正文	学文社	4101ト
6	70代三人娘、元気の秘策	俵萌子・吉武輝子・樋口恵子	講談社	4101ナ
7	鎌田實のしあわせ介護 苦しみを喜びに変える88のヒント	鎌田實	中央法規出版	4102カ
8	おしゃべり診療回想法 認知症予防のための「脳環境」づくり	小林幹児	論創社	4102コ
9	ジェンダー学と出会う	目黒依子	勁草書房	1103ㇿ
10	農村ジェンダー 女性と地域への新しいまなざし	秋津元輝ほか	昭和堂	1103ノ
11	子どもが忌避される時代 なぜ子どもは生まれにくくなったのか	本田和子	新曜社	2106ホ
12	「ぼくの父さんは、自殺した。」 その一言を語る今	今西乃子	そうえん社	2109イ
13	女性のためのハッピー転職バイブル	山下さずが	中経BP社	2204ヤ
14	「ほどほど」がだいじ がんから5年	岸本葉子	文芸春秋	5104キ

福島県男女共生センター図書室だより

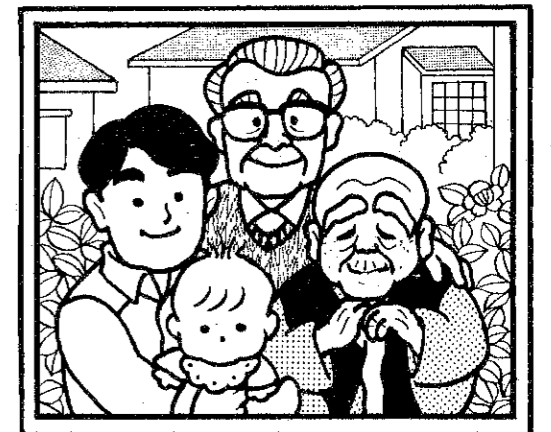
第33号
2009. 6. 20

ライブラリー

散歩道

今月のテーマ 高齢化社会に生きる

一日々のはりあいを求めて



編集後記

安達太良山の残雪も消え、濃い新緑の風の中から鳥たちのにぎやかなさえずりが聞こえます。一年中で一番日の長いこの季節、早起きしてオウオーキングも良い、夕方、庭の草花との触れ合いもまた心が癒されます。

当男女共生センターの図書室では、男女共同参画に関する図書を始め、くらし・仕事・家族など多方面に渡ってご覧いただけます。

ドライブの途中で、また散歩道のお寄りいただければ、ボランティア一同たいへんうれしく思います。

利用ガイド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日 前日 9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1
福島県男女共生センター ~女と男の未来館~ TEL0243-23-8308 (図書室直通)

「わたしは今がいちばん幸せだよ」

—エルマおばあさんケア日記—

大塚敦子 小学館

多発性骨髄腫というがんの末期だったエルマおばあさんは、著者に自分の人生の最後の日々を死の瞬間まで写真と文章で記録することを許してくれました。

「わたしは今がいちばん幸せだよ」、人生の最後をそんな言葉で締めくくったエルマおばあさんは、よりよく死ぬとはどういうことか、たいせつな人の死が嘆きや後悔ではなく心温まる愛情の記憶に満たされるようにするにはどうしたらいいのか、エルマおばあさんと家族の物語のなかに、そのヒントを見つけてもらえることと思います。
(K. M.)

「死んだら何を書いてもいいわ」

—母・萩原葉子との百八十六日—

萩原朔美 新潮社

著者の母は小説家・萩原葉子。祖父は詩人・萩原朔太郎である。この本は母親との共著もある著者が、「母・萩原葉子」という文章でも書いてみよう、モデルの母親に原稿を見せると、あっちこっちエンピツの手直しがあって、「私が死んだら何を書いてもいいわ」と笑い、以前から書くのは「よしてよ、死んでからにして」と言われていたので、2005年7月1日に亡くなってから、女流作家の一人息子としての思いをまとめたものである。

ずっと離れて暮らしていた著者に、「一緒に暮らせないかしらね」と遠慮がちに云う葉子。ダンスの稽古場のある自宅で元気に暮らし、母親だけは加齢サイクルがスローダウンしているのではないかと本気で思っていたが、84歳になっており、何が起っても不思議ではないと同居を決める著者。その暮らしは、つき離したり寄りそったりと濃密なものであり、読んでいてあきない。

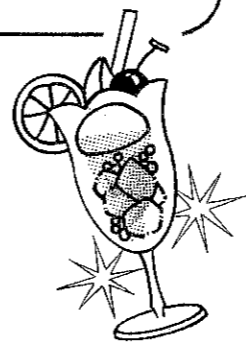
葉子は作家であると同時に、踊りの名手としても活躍し、年を感じさせない若々しさで、晩年になってもその映像は華麗であった。

「書くこととダンスの稽古で掃除もしてられない老人の一人暮らしでは、何でもためこんで居り、たくさんのそれらが、人間を押しつぶすような表情で迫ってくる」とあるところでは、そうなの、私もよと言いながら面白く読め、おすすめの一冊である。

(K. K.)



人生の節目々々を区切る「壽」ということばがあります。長生きは目出度いことと言われ七十才で古来稀、古稀となりましたが、現代は、その後の喜寿、傘寿、米寿、卒寿、万寿、白寿と元気な高齢者の方が続いております。各種スポーツ大会で、文化的行事で、また日常の生活の中でも、昔はお年寄と言われた年齢の方々の生き生きと活動する姿が目にとまります。さらに視線を外に向け、毎日の生活に張りをもてる生き方を探っていく手がかりとして、これらの図書が参考になればと思います。



「『ありがとう』は祈りの言葉」

—隠岐の離島に生きる幸齢者たち—

看取りの家「なごみの里」柴田久美子 佼成出版社

題名と幸齢者という書き方に惹かれて手に取った本である。島根県の知夫里島で、NPO法人看取りの家「なごみの里」を開いている著者が、最期に「ありがとう」と言って死ぬ人の尊厳を、実例に基づいて語っている。「幸齢者」と書くのは、看取ったお年寄から計り知れないほどの幸せを授かっているから。前書きの「たとえ人生の99%が不幸であったとしても、最期のときが幸せなら、その人の人生は美しいものになるであろう」という文が印象的。否応なく死とも直面せざるを得ない高齢化社会で「人間らしい死」を考えるのに、大きな手がかりを与えてくれる本だと思う。
(S. N.)

「園田天光光 生きがい上手」

園田天光光 たちばな出版

著者は昭和21年、戦後初の総選挙に出馬して当選、婦人議員として衆議院議員を三期つとめました。現在満九十歳で元気に活動されています。この本には著者の半生と現在の夢、そして夢を達成する為に行動する姿が楽しく描かれています。エピソードの「人生は楽しい」の章を読むと、「生きがい上手」という書名の深い意味がわかるように思えます。
(W. T.)

「老いて光る生き方」

—あなたと生きがい、家族、心、暮らしの話—

一番ヶ瀬康子 中経出版

少子高齢化が地球規模で進んでいる時代になりました。私も高齢者の仲間入りをしています。こんな日常生活でいいのだろうか、自分らしい生きる目標とは……?などと自問する毎日を送っています。誰にでも訪れる老いをどう受け止め、見つけ、楽しむことができるのか。この本の著者は、「生涯青春」を心に決め、健康な長寿をどうすれば保てるかを求め続けています。社会福祉の研究、活動から得た経験をもとに、周囲の人たちと幸せに生きていくヒントが具体的に述べられています。

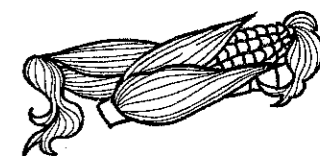
「人生100年、最後は1週間」という印象的な言葉とともに。
(I. M.)

「高齢者のレクリエーション&健康ゲーム」

原田律子 編著 いかだ社

著者は「私が理想としているレクリエーションは、障害のあるなしにかかわらずだれもが気楽に参加でき、何よりも楽しくなることです。そして、それを通じてお互いのコミュニケーションが深まっていくことです。」と、まえがきで述べています。

出会いとふれあいのゲーム、笑いがいっぱい！ユーモアゲーム、どんどん元気がでるゲーム、コミュニケーションばっちりゲームが紹介されています。タオルやボールを使ったり、空き缶やペットボトルなど、身近にある物を使ってできるゲームばかりです。一人でもグループでもできるので、楽しんでみませんか。
(T. Y.)



「ライブラリー 散歩道」テーマ一覧

第1号	ようこそ図書室へ	第18号	男女平等再考
第2号	図書室Q&A	第19号	続 男女平等再考
第3号	「ジェンダー」ってなあに?	第20号	子どもはSOSを発している
第4号	「男女共同参画」について考える	第21号	「こころはいつも南向き」
第5号	いきいきと生きる	第22号	♪できることから♪
第6号	ドメスティック・バイオレンスってなあに	第23号	「聞こえてますか?」パートI
第7号	ボランティア一年を振り返って	第24号	「聞こえてますか?」パートII
第8号	お父さん、こっち向いて	第25号	セクシュアル・ハラスメントを考える
第9号	「自分への挑戦」	第26号	本の花たば
第10号	風に向かって	第27号	本の花たば II
第11号	「戦争を知らない世代へ」	第28号	家族のつながり
第13号	読書タイムは幸せタイム!	第29号	続 家族のつながり
第14号	世界の風を受けて!	第30号	こころはいつも南向き II
第15号	暴力を許さない意識	第31号	読書タイムは幸せタイム!(II)
第16号	本の花かご	第32号	発想をしなやかに
第17号	続 本の花かご	第33号	高齢化社会に生きる

福島県男女共生センター図書室だより

第34号
2009. 9. 20

ライブラリー

散歩道

利用ガイド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日 前日 9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

うらご雲が澄んだ青い空に広がって、すっかり秋になりました。前号に続いて高齢化社会に生きるヒント満載の本を選んで紹介しました。

政権交代が実現し、どんなふうに変化していくのか、みんな固唾を飲んで見守っています。誰もが暮らしやすい世の中になることを期待して、実りの秋を楽しみましょう。秋灯下、読書にちよつと時間をさぐのめいね。

編集後記

今月のテーマ

続 高齢化社会に生きる

一日々のはりあいを求めて



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア
 図書室へのお問い合わせは
 〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1
 福島県男女共生センター ~女と男の未来館~ Tel.0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 41017

「空飛ぶ町医者の楽しい老いのヒント 85 章」

—いつも心は南向き—

藤井康広 主婦の友社

医者である著者は故郷に戻り、町立病院の外科医から父の跡を継いで開業医、いわゆる町医者として活躍する一方で、両親が立ち上げた老人福祉事業にも取り組む。本書は藤井医院でのお年寄りや施設の老人達にかかわるエピソードの中から、老いのヒントになるものをまとめたものである。

人は年をとると詰めこんだものが多いから、ボロボロと抜け落ちるのが当然。抜け落ちたらまた詰めこめばいい。物忘れ防止のために努力したり、意識して記憶しようとするれば頭の訓練になるし、利き腕を使わないで食事をしてみたりすると、毎日の生活に刺激にもなる。ひょいと開いたどの頁にも感心したり思い当ることが数多くあり、元気がもらえて気軽に読める本である。(K. K.)

分類番号 41017

「シクスティーズの日々—それぞれの定年後」

久田 恵 朝日新聞社

「アラフォー」、「アラカン」…など最近のはやりことは、人生の節目に当たる年頃の人たちに何かを期待している響きがします。この本のタイトルは、ザ・ビートルズの「64歳になったら」という曲がヒントになってつけられたものだそうです。

年を重ねていくということは、常に未知の世界へ足を踏み出すようなものだから、道案内が必要。その役割を、現役の60代の人たちからの心の内を聞けば、生き方の鍵になる何かがある。定年後の夫や妻、夫婦の関心のあり方などに視野を向けて取材されています。

新聞の小さな連載コラムが、読者の共感を呼び、体験の交流の場にまで発展したそうです。100人100様の生き方があり、ちょっと視野を変えてみることで、「目からうろこ」の自分の人生観が見えてきそうで、心がうきうきしますよ。(I. M.)

今年の敬老の日は、シルバーウィークの中の一日として連休の中に埋没しかねない存在でした。今回も前号に続いて高齢化社会に生きる私達の心のよりどころとなるような図書をご紹介したいと思います。年齢を刺んだ方達の味わい深い言動と教えをしっかりと受け止めていければと願います。

分類番号 41017

「岡田信子の老い支度べんり帳」

岡田信子 主婦の友社

本のタイトルに興味を持って手にとりました。老いについては誰でもちょっと心配になる時期が来ると思います。自分の力でその老い支度ができたら、納得できる人生を送れそうな気がします。一人暮らしの方やその家族にとって考えるきっかけになることばかりです。読んでいて気持ちが明るくなり、気が楽になって楽しい時間を過ごせそうです、そんな気持ちにさせてくれる一冊です。(T. Y.)

分類番号 31033

「おひとりさまでもたいじょうぶ。」

吉田太一 ポプラ社

先頃、女優のOさんの孤独死が報じられ驚かされましたが、この本は遺品整理業を営む筆者が、そこで出会った多くの体験をもとに孤独死は孤立死でもあるとし、世の中・家族・周囲の人々との関わり合いの大切さ、おひとりさまでもたいじょうぶと言える前向きな生き方を、今日からでもできることとして具体的に述べております。大家族制が殆ど失われつつある現代では、おひとりさまでなくとも、一人一人が心がけておかなければならない大切な心得かと納得しました。(W. T.)

分類番号 42047

「図書館に行ってくるよ」

—シニア世代のライフワーク探し—

近江哲史 日本アソシエーツ

シニア世代は時間待ちの人が多。その時間を図書館で過ごそう。いわゆるひまつぶし、ちょっとモノを調べたい、心ゆくまで読書したい、それだけにとどまらず、図書館のイベントに積極的に参加する、生涯教育の場としてライフワーク探しにつなげるなど、図書館は健全な精神を保ちつつ生きていくための大きな支えとなると著者は言う。一般の利用者の視点で、図書館のすばらしさ、問題点と可能性、さまざまな提言などをやさしく語り、その中から図書館をどう利用したらよいかということがわかってくる。最初はひまつぶしから始めても、やがて大きな果実が収穫できるかもしれないという気持ちにさせてくれる本である。(S. N.)

分類番号 61027

「パリのおばあさんの物語」

スーシ・モルゲンステルヌ 著

セルジュ・ブロック 画

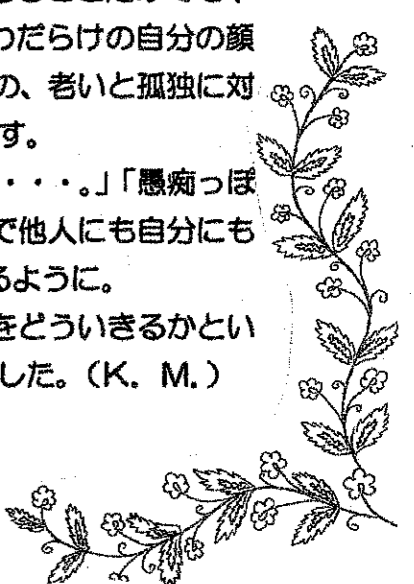
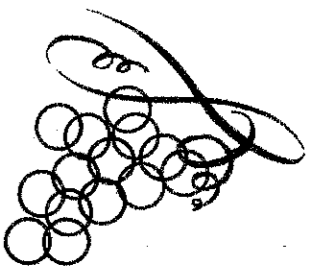
岸 恵子 訳 (株)千倉書房

この本は、パリのおばあさんの物語という絵本を岸恵子さんが、翻訳したものです。

「やりたいこと全部ができないのなら、できることだけでもやっていくことだわ」と言い、苦楽が刻んだしわだらけの自分の顔を「なんて美しいの」とつぶやくおばあさんの、老いと孤独に対し、やわらかくさわやかに生きている物語です。

「老いの身の孤独をどう生きてゆけるのか……」「愚痴っぽく自分勝手な頑固者になるか、感謝の気持ちで他人にも自分にもやさしくなれるか……」とあとがきにあるように。

ほんの37ページの短い物語ですが、老いをどう生きるかという大事なテーマがすっきりとつまった一冊でした。(K. M.)



☆テーマに沿った本の紹介☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 35 号
2009. 12. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	子ども白書 2007 子どもの希望を育むアイディアの結晶 — “美しい国” の悲慘の中で	日本子どもを守る会/ 編著	草土文化	0109こ ※禁帯出
2	親子でできる防犯力 親子の会話が、防犯の第一歩	石井栄子 セコム株式会社 子を持つ 親の安全委員会/監修	フレーベル館J	2106イ
3	下流志向 学ばない子どもたち働かない若者たち	内田樹	講談社	2106ウ
4	モンスターマザー 世界は「わたし」でまわっている	石井結貴	光文社	3203イ
5	子どもを愛せなくなる母親の心 不思議な「心」のメカニズムが一目でわかる	大日向雅美/監修	講談社	3206オ
6	子どもの心をしずめる 24 の方法	エリザベス・クレアリー/著、 ミッツ・カタヤマ/絵 田上時子+本田敏子/共訳	築地書館	3206ク
7	格差をなくせば子どもの学力は伸びる 驚きのフィンランド教育	福田誠治	亜紀書房	32087
8	なぜそんなに「まわり」を気にするの？ 親と子をめぐる事件に思う	青木悦	けやき出版	32117
9	「愛されたい」を拒絶される子どもたち 虐待ケアへの挑戦	椎名篤子	大和書房	32119
10	裁かれた罪 裁けなかった「こころ」 17歳の自閉症裁判	佐藤幹夫	岩波書店	3212サ

ライブラリー

散 歩 道

利用ガイド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日 前日 9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

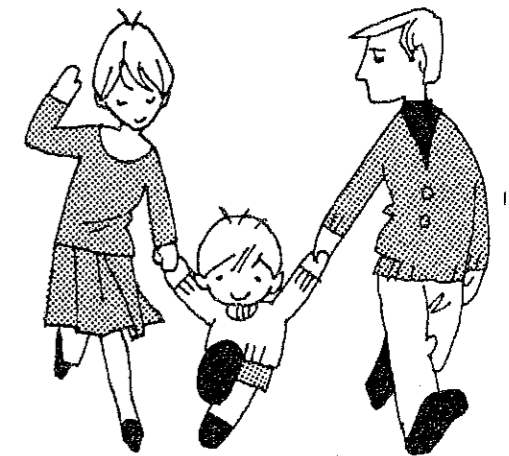
今年の漢字一字は、「新」、流行語大賞は「政権交代」が選ばれました。半世紀近く続いてきた政権が交代するところが、どんな風に変わっていくのだろうか……しっかりと見ていきたいと思えます。子どもや女性・老人など弱者への虐待や暴力などはまだまだ多く、驚くようなニュースが駆けめぐりました。少しでも元氣や勇気を届けたいとの思いを込めて、今年も何冊もの本を紹介してきました。お役に立てればともうれしく思います。

編集後記

今月のテーマ

追いつめないで

—子どもは明日への希望—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 Tel. 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 4208J

「子どもにやさしいまちづくり」

喜多明人・荒牧重人・森田明美・内田塔子 日本評論社

子どもを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。子どもがおこす事件や不登校・学級崩壊あるいは児童虐待など今もおきています。また、少子化対策や支援・施策も盛んに行われ、自治体の子どもに対するそのあり方はとても重要で家族も期待していると思います。「どのように子ども施策をつくるか」あるいは、「23の施策事例報告」そして「全国調査からみる子ども施策の現状」などから施策をつくるための視点や方法のために参考になると思いました。

(T. Y.)

「ふにゃふにゃになった日本人」

マークス寿子 草思社

近頃何か変だと思ふことが多いので、どこがどんなふうになつてしまったのだろうかと手にとってみた。自由と権利のはきちがえ、父親のなすべきことは……と論が進み、「孫を台なしにする祖父母」に至った。ホロ苦さがジワーっと広がり、少々言葉きつく言い切られるとつらい。著者は崩れそうな問題山積の日本の家族の関係を、どのようにしたら立ちなおらせるかという難問にいくつかの方向を示していると思う。

(A. K.)

分類番号 61027

「受験のシンデレラ」

和田秀樹 小学館文庫

ご覧になった方も多いと思いますが、今年9月5日・6日の未来館フェスティバル大参画祭のシンボルイベントとして上映された「受験のシンデレラ」を小説にしたものです。

がんで余命1年半という宣告を受けた、東大合格率9割を誇る「受験のカリスマ」と呼ばれるゼミナールの経営者。富も名声も捨て、経済的な事情で高校中退を余儀なくされた女の子を東大に合格させるというものです。「希望格差社会」「教育格差」「学力低下」等の社会問題を諷刺し、人生は変えられる・夢はきっと叶うんだという一生懸命生きる人々への応援メッセージでもあります。2時間以内という映画の中では盛り込めなかった、受験計画の内容や、がん緩和ケアの実態などを書く事が出来たと著者が話すように、また映画とは違う感動を味わう事が出来ると思います。

(K. M.)

子どもが、未来をになうかけがえのない存在であることは昔も今も変わりありません。

少子化の心配がまさに現実のものとなっている今、子どもを大切にというかけ声だけは大きいですが、親や祖父母をはじめ私たちおとなは、自分の価値観を一方的に押しついたり、必要以上に甘やかしたりしていませんか。おとなの都合によって振り回される子どもの声なき悲鳴に早く気がつかなければ、という思いを込めて選んだ本を紹介しします。子どもも、おとなも心からの笑顔で生きられる社会でありますようにと念じつつ。



分類番号 32017

「娘に伝えたいこと」

—本当の幸せを知ってもらうために—

町田貞子 光文社

核家族化が進む現代、「時代は変わってもお母さんの役割は変わりません。」と、祖母から母へ、母から娘へ伝えたいこと、残したいことを日常生活の中で見直してみています。家族の幸せを願いながら、家事に、育児にちょっと足踏みしている女性に、明日への新しい一歩を踏み出させてくれる本です。毎日の生活のどこに目を止め、気づき、良さを認め、また修正を加えていったらいいか、主婦暦60余年の経験から語られています。「子育てと仕事はどこまで両立できるか」の章では、子どもと触れ合う時間を優先するとともに、家族が働くことの大切さも教えましょうとアドバイスしています。

(I. M.)

分類番号 3212t

「親殺し」

芹沢俊介 NTT出版

非常にショッキングな書名を見て、筆者がどんな意図でこの本を書いたのか知りたくなりました。著者は、親殺しには子殺しが先行していること、そして、その要因は1に「教育家族」—よりよい学歴を目的にした子育てが行われるようになった家族—、2に「離婚」、3に「対人関係」、4に「挫折とコンプレックス」があると説いておられます。2004年から2008年の間に実際に起きた9件の親殺しの事件を例に挙げながらの説き進めには、親殺しには実は子殺しが先行しているのだという、著者の主張がよく表れておられます。子どもに対する真の愛情とはどういうものか。親の意識改革、接し方、育て方について深く考えさせてくれます。お父様、お母様、ぜひ読んでいただきたい本です。

(W. T.)

分類番号 3206*

「新版 おとなの目を気にする子どもたち」

細井啓子 プレーン出版

親やまわりのおとなたちに心配をかけたくないという気持ちばかりが先行して、言いたいことも言えない、甘えることもできない子どもたち。特に母親とその感情のはげ口となりやすい子どもとの関係を中心に、子どもの本音をひき出しながら、さまざまの問題点を具体的にわかりやすく浮き彫りにしている。

2004年新版第1刷発行であるが、この本に示された子ども達を取り巻くおとなの目は、ますます彼ら、彼女らを追いつめているのではないかと思えてならない。少子化だからといって子どもにあまりにも大きな期待をかけることは、かえって子どもの心の崩壊につながる。子どもが親を喜ばせるために自分を犠牲にすることなく、その存在の全部を認められながらのびのびと育つ社会。それがおとなにとっても生きやすい社会につながる。子どもの置かれている深刻な現状をまず知るために、恰好の一冊である。

(S. N.)



分類番号 32037

「父親—100の生き方」

深谷昌志 中公新書

著者はこどもの問題の研究者として2007年「昭和の子ども生活史」を刊行しており、そのもととなったものは、400冊を超えるさまざまな分野やタイプの人達の自伝から、遊びや勉強の視点で生活をとりあげたものである。

この本は明治以降の自伝100冊に描かれた“子どもの目から見た”父親100人の多様な生き方に焦点をあてている。威厳はなくともやさしい父親もいれば、子どもとの距離をはかれない不器用な父親、身勝手にいばりちらし、家族に迷惑をかける父親などとのふれあいの中で成長し、後年自伝として残しているが、自伝を残す人は成功者ばかりではないのである。高名な人として知られている人の父親像に意外性を見つけたり、反面教師として父親をとらえてきたらしいことなど読んでいて興味はつきなかつた。

現在不安定な社会にあっていろいろな事情で自分の父親ぶりに自信をもてない人が多いといわれている。この一冊を手にとられて子どもとの接し方を模索されてみてはと思うのである。

(K. K.)

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	家事と家族の日常生活 主婦はなぜ暇にならなかったのか	品田知美	学文社	1101ツ
2	ジェンダーと人権 歴史と論理から学ぶ	辻村みよ子	日本評論社	1103ツ
3	あなたも裁判員 第2版 漫画で読む裁判員制度	久保内統／文 藤山成二／画	日本評論社	2104ク
4	「幸せなお産」が日本を変える	吉村正	講談社	3205ヨ
5	男の育児・女の育児 家族社会学からのアプローチ	大和礼子／斧出節子 木脇奈智子	昭和堂	3206ナ
6	男の子のなぞ！ 先輩ママだけが知っている子育てアドバイス	子育てネット	大和書房	3206ジ
7	ラブ・コミュニケーション	須藤なほみ	ゴマブックス	5206ハ
8	おんな作家読本 明治生まれ篇	市川慎子	ポプラ社	6102イ
9	漱石 母に愛されなかった子	三浦雅士	岩波書店	6102ミ
10	ジャズに生きた女たち	中川ヨウ	平凡社	6105ナ

福島県男女共生センター図書室だより

第 36 号
2010. 3. 20

ライブラリー

散 歩 道

利 用 ガ イ ド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日前日9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

第三十六号をお届けします。寒さからつかの間、開放された暖かい日に、なごやかな時間の中で今回のテーマを決めました。今年には未来館誕生十年目に当り、それを記念して各種講演会やイベントが、これから開催されますが、それらに出席され、ついでに図書室に立ち寄りながら読書をお楽しみください。

新年度には多数の新刊が入るそうです。歴史ものや女性史がブームとか。読みたい本に出会ってみませんか。

編集後記

今月のテーマ

歴史の中の女たち

—気軽に読める女性史—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア
 図書室へのお問い合わせは
 〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1
 福島県男女共生センター「女と男の未来館」 Tel. 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 1203A

「死んだら何を書いてもいいわ」

—母・萩原葉子との百八十六日—

萩原朔美 新潮社

高校生の頃、朔太郎の詩を読んだっけ……。娘の葉子さんは父のことを書いた人……。位の知識しかなかったが、著名な家族を持った人達への好奇心もあり手に取った。

62歳で自宅にダンスの稽古場をつくり、70代からアクロバティックなダンスも始めたという葉子。一人息子の朔美との生活も、並とはほど遠いような、個の強調された様子に、驚くばかり。朔美から見た母葉子は、若者のように若々しかったとのこと。(A. K.)

分類番号 1201F

「江戸の女の底力」—大奥随筆—

氏家幹人 世界文化社

副書名に大奥随筆と記してあり、著者は30年近く江戸時代の日記に接してきた歴史研究者である。この本は不自由で厳しい境遇、可哀想な女達、黙々と不幸に耐えて生きてはいるが、自己主張も強く、活発に行動して男達から敬意を表されているイメージもある江戸時代に生きた女性達の底力を紹介している。実際にはこの時代のことは、テレビや映画できり想像するしかないのだが、大奥の老女達との関わりの中で支えられながら賢明に生きた、島津家の篤姫(天璋院)は記憶に新しい。歴史を好む方達には面白く読め、共感や共鳴をも得ることが出来る一冊と思う。(K. K.)

分類番号 21127

ヨーロッパ史入門「魔女狩り」

ジェフリ・スカル/ジョン・カロウ 小泉徹 訳 岩波書店

本書はPalgrave Macmillanより刊行されているStudies in European Historyシリーズのなかから10冊を選び「ヨーロッパ史入門」として刊行されたものの中の一冊です。

「魔女狩り」とは単に過ぎ去ったヨーロッパの過去の遺物にとどまるものではなく、社会的緊張が高まる現在、私達の社会の周辺に異端者を見つけ出し、それを「魔女」として排除しようとしたり、ひょっとすると「テロリスト」「非国民」といった名前のもとに今でも「魔女狩り」をしかねない存在だという。

ハリー・ポッターシリーズに対する熱狂的な関心や新聞紙上をにぎわすさまざまな事件の背後に、オカルト的な世界に対する関心が見え隠れしている様な気がする。「魔女狩り」を成り立たせた原動力は何だったのか、迫害にはどんな地域差があり、また、どんな人が犠牲になったのか、広い視野をもって読んで頂きたい一冊です。(K. M.)

県男女共生センターが発足して、今春は十周年を迎えまし

た。いろいろな記念行事が開催されましたが、“散歩道”でも遠い昔から現代までの女性の歩みに焦点を当て、彼女達の暮らし方、ものの考え方そして後世に与えてきた影響などを知り、現代に生きる女性達の指針になればと選書いたしました。どうぞご参考にしてください。



分類番号 12027

「主婦が大学にゆくとき」

松田敏子 ドメス出版

著者自身の体験をもとに書かれており、私にとって身近に感じられ、うなずきながら楽しく読むことができた。内容は、専業主婦が「主婦でいいの？」と素朴な疑問を持つことから始まった。そして、働くことを真剣に考え、大学に行きたいと気づいた。そんな彼女が大学へ行くようになった経過や心の変化、家族との関わりがわかり易く書かれている。卒業と同時に女性センターに務め、大学に行ったことがいかされずばらしいと思いました。(T. Y.)

分類番号 12017

「明日を切り拓いてきた女たち」

—差別の壁を乗り越えて—

部落解放同盟大阪府連婦人部 編 解放出版社

部落出身だから、その上女だからと差別されて、人前でしゃべることも、文字を書くこともできなかった女たちが、生活に根ざした切実な要求のもとに結束し、組織を結成(上記の編者)、生き方を変えてきた体験が20代から60代の6人の女性たちによって語られています。差別と真正面から向き合って部落解放運動に立ち上がるまでの紆余曲折、運動を始めてからの苦悩や喜びが率直に語られています。

島崎藤村の「破壊」、住井す糸の「橋のない川」等若いころ読んだのを思い出しながら、被差別部落の問題は地域の特異性という見方ではなく、私達一人一人の共通の課題として考えなければという思いを強くしました。(S. N.)

分類番号 1201J

「はじめて出会う女性史」

加美芳子 はるか書房

(執筆協力 鈴木陽子・新井知子・池田謙司・青木美智子)

歴史に興味を持つ女性達を称して“歴女”と言うそうですが、この本は、原始・古代から現代までの女性の歩みを女王卑弥呼や推古天皇、出雲の阿国、日野富子、巴御前、更に町娘、農家商家の女性など多岐に渡る階層のおおくの女性達を取り上げながら、彼女達がそれぞれの時代、それぞれの環境の中で、どう生きたかを紹介しております。難しい歴史用語を使うでもなく、日本史の知識に詳しくない私でも、本当に楽しく読むことができました。ぜひ一読してみてください。

(W. T.)

分類番号 1201J

「おんなの史跡を歩く」

京都新聞社 編 京都新聞社

第三十一代用明天皇の後で、聖徳太子の母である間人(はしうと、またははしひと)皇后から、順に時代を下って、明治時代大津事件でニコライ皇太子の負傷を知った一女性島山勇子が、日露両国の国交悪化を憂いて、これを阻止しようと、日本政府、ロシア帝国、家族等に十通の遺書を残して自害した事件など合わせて73名の女性の史跡をたどっています。教科書で学ぶ日本史と違って、名のある人、名の無い人、多くの女性達が人間として生き、考え暮らした様子を身近なものとして伺うことができます。添えられた多くの写真・地図などと共に、自分もぜひその場に立ってみたいという思いを抱かせてくれました。というわけでおそまきながら私も「歴女」の仲間入りとなった次第です。(W. T.)

分類番号 12027

「父への恋文」—新田次郎の娘に生まれて—

藤原咲子 山と溪谷社

「うちの咲子はかわいいな、おめめばっちり母さんに、ほっぺはばら色父さんに、ほんとにほんとにかわいいな」で始まる文章に、どんな親子関係が展開されていくのか興味がわきました。著名な作家新田次郎と藤原ていの娘として生を受けた著者は、母ていのベストセラーとなった「流れる星は生きている」の中の咲子についての一節に苦悩し続けて成長していきます。戦時下に生まれ、兄二人よりややひ弱だった咲子に、父は毎日のようになにかとほめ、励まし、心を開かせようと接してくれます。多忙な母より父との交流が深く、自己表現の手段としての物の見かたから文章の書き方まで、やさしくおしえてくれました。そんな父から娘に託された、作家として、父としての生涯を温かく見つめている一冊です。(I. M.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 37 号
2010. 6. 20.

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	何とかなるさ！ ママは宇宙へ行きます	山崎直子	サンマーク出版	1202ヤ
2	忘れられない、あのひと言	『いい人に会う』 編集部／編	岩波書店	21104
3	「争わない」生き方	和田秀樹	新講社	21107
4	働くママに効く心のビタミン	上田理恵子	日経BP社	2202ウ
5	男おひとりさま道	上野千鶴子	法研	3103ウ
6	フランスの子育てが、日本よりも 10 倍楽な理由	横田増生	洋泉社	3206エ
7	みまもり家族制度 一人暮らしのお年寄をサポートします	濱田健士	講談社	4101ハ
8	生きるって人とつながることだ！ 全盲ろうの東大教授・福島智の手触り人生	福島智	素朴社	41037
9	終りよければすべてよし	羽田澄子／編著	岩波書店	4106ハ
10	お父さん、こっちを向いて！ 女性精神科医からの父親へのメッセージ	上村順子	エクスナレッシ	5101ウ

ライブラリー

散 歩 道

利用ガイド

- ◎利用時間
9：00～20：00
(休館日 前日 9：00～17：00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記
第三十七号をお届けします。先号に続いて再度女性史から学ぶをテーマと致しました。政治の局面をはじめ社会の変動が激しい時こそ、歴史に目を据えて学びながら、毅然と生きたいと思います。
緑したたる季節、どうぞお健やかに。時には、この図書室に足を向けてくださるとうれしいです。

今月のテーマ

歴史の中の女たちⅡ

—気軽に読める女性史—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 6102 ㊦

「心はいつも育ちざかり」

清川妙 あすなろ書房

「チャンスの前髪をつかめ」という言葉が印象的だった。チャンスに気づく人、つかまえない人、上手にパッとつかむ人など・・・、私はどこに当てはまるだろうか？ できればパッとつかみたい！ 長い人生のなかでは、ある言葉から勇気をもらったり、背中を押してもらったり、また、目標にすることもあると思う。彼女の前向きな姿勢や、やさしい人柄がにじみ出ている。読んでいて楽しく、そして優しい気持ちにしてくれた本でした。「清川妙のすてきに年を重ねたい」という本も、今度読んでみようと思いました。 (T. Y.)

分類番号 1202 ㊦

「マイ・ストーリー」

山本容子 新潮社

山本容子の銅版画が好きである。音楽と合体した楽譜絵、フランス料理のレシピ絵本等々、何ともユニークな雰囲気を持つ絵の画家、山本容子の自伝である。

銅版画との出会いや青春時代のあれこれ・・・。「ああ、こんな生き方、あこがれだったっけ」と思った。「長い長いあとがき」で、当時 52 歳の彼女は「人生は半ば、悔いを残さないために」と、生きることを愉しむことに貪欲な自己管理術のあれこれを示している。

健康について、美しくあることについて、スケジュールをたてる時はまず遊びの日程からとか。

何か一つ、私にも手が届くだろうかと思ってみた。 (A. K.)

分類番号 1201 ㊦

「サザエさんからいじわるばあさんへ」

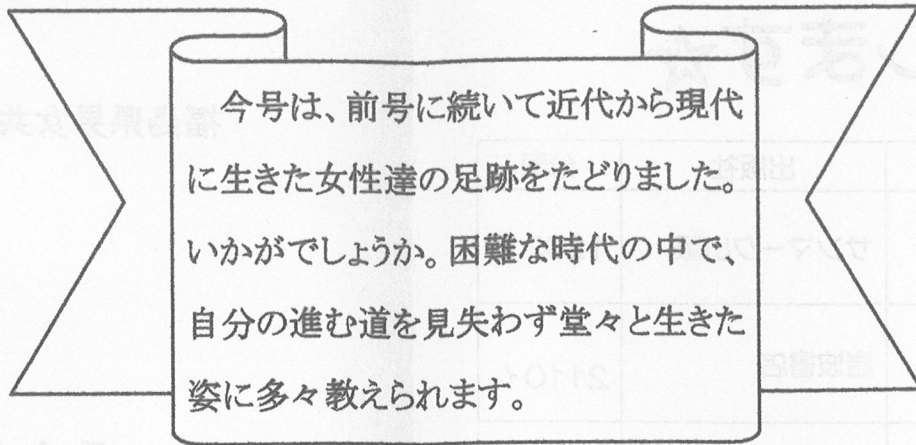


一女・子どもの生活史—

樋口恵子 ドメス出版

長谷川町子の名作「サザエさん」が初めて新聞に登場したのは昭和 24 年 12 月 1 日である。

この本は、サザエさん一家のそれぞれの年代の家族達を同時代の庶民の代表としながら、社会の世相、暮らし方、ものの見方の推移を考察している。副題に「女・子どもの生活史」とあるように、作者長谷川町子の暮らしした戦後の生活が、現在と比較されつつ述べられていて、楽しくなつかしく読み進むことができた。“老い”については「いじわるばあさん」の漫画から考察されていて、これも、高齢化社会の先取りとして、納得しながら読むことができた。ぜひ一読されるよう、おすすすめしたい。 (W. T.)



今号は、前号に続いて近代から現代に生きた女性達の足跡をたどりました。いかがでしょうか。困難な時代の中で、自分の進む道を見失わず堂々と生きた姿に多々教えられます。

分類番号 1203 ㊦

「杉村春子」—女優として、女として—

中丸美繪 文芸春秋

この本のカバー写真に接した時、ややかん高く、多少早口でセリフを言う春子の息づかいが感じられてくる。文中に掲載されている舞台写真には演目と登場人物の紹介があるが、この写真はどの場面なのだろうか。この本は女優としての 70 年間の歩みが、その時代背景と共に克明に書かれており、芝居の道を志す人達には是非熟知してほしいことが多く、また、春子と共演した俳優たちとのエピソードなどは読者に新事実を伝えてくれて興味はつきない。

春子は平成 9 年 4 月 4 日に 91 才で亡くなった。墓には戒名はなく「春子」とだけ刻まれており、その脇の墓碑名には「自分で選んで歩き出した道ですもの」という「女の一生」のセリフが本人の筆跡で彫られているという。晩年は相当に身体が衰えていたようだが、幕があくと凛とした姿で演じたという春子の生き方を多くの人々の記憶に残してほしいと思う。

(K. K.)

分類番号 1203 ㊦

「『わたし』を生きる女たち」

—伝記で読むその生涯—

楠瀬佳子 三木草子／編 世界思想社

本書は、京都精華大学創造研究所の「女性学共同研究会」の中で日本女性の歩みを共通認識したい、そのためには女の歴史をもっと知りたい、伝記や自伝から女の歴史が見えてくるのではないかと・・・という思いから誕生したものです。

第 1 章芸術を生きた女たち、第 2 章女性権利獲得のために闘った女たち・・・など、時代の制約や価値観にとらわれずたえず自分らしい生き方を追求してきた女たちの「伝記」や「自伝」を通して、彼女たちがどのように時代を切り拓いたかをたどったものです。

彼女たちの人生を知るだけでなく、人は時代のなかで成長し、出会った人々によって大きく変化すること、ひとり人間として尊重しあえる関係をどのように築き上げることができるのか・・・など、今、生き方を模索している人たちのヒントや励ましになる事と思います。 (K. M.)

分類番号 1203 ㊦

「警女 ござの記憶」

宮成照子／編 桂書房

女優有馬稲子の当り役、「はなれ警女おりん」で、警女ということばをごぞんじの方も多いと思います。三味線や胡弓を持ち、目の見える手引きに導かれて、農山村の家々をまわって、警女唄をうたい、金品をもらって生活する盲目の女旅芸人です。幕末から明治中頃までがその全盛期で、特に越後(新潟)、越中(富山)など北陸に多かったようです。

この本は、越中最後の警女と言われた佐藤千代と、その手引きを 7 年間つとめた山口コト(編者の母)の生涯を綴った書です。写真と編者自身の作になる絵がたくさん挿入されており、それらを眺めながら文章を読むと興味もひとしおです。千代とコトは明治、大正、昭和を生きぬいた女性で、警女とその手引きという生き方が、女性の歴史の中にあつたことを知るだけでも、女性史に対する見方が深まるのではないかと思います。 (S. N.)



分類番号 1202 ㊦

「21 世紀へつなぐ言葉」

小林登美枝 ドメス出版

私は戦後教育制度のもとで育ち、働く女性の権利の向上をめざしてきた時代に生活してきました。この本の著者は、女性記者の先駆者として戦前から戦後にかけて女性労働の現場取材してきました。「働く女性の問題」を自分の中心となるものと心にきめ、記事を書き続け、「母性保護」を訴えた時には、職場を追われるほどだったと言っています。

著者が戦後の婦人運動の女性史に名を残す人々へのインタビューや講演の記事を書く中で、「元始、女性は太陽であった」の名言で知られる平和運動家の平塚らいてうとの感動的な出会いがあった。その後活動をともしながら、平和や女性の自立を求め、らいてうのメッセージを次の世代に語り継ぐことに力を注いだ。このわが国最初の婦人政治記者の活躍は、真の自由、真の男女同権の実現をめざして、大きな役割をはたしてきたことを知りました。懸命に求め、得てきた権利を、これからの人たちにも大切に生かして欲しいと願いつつ、お薦めの一冊です。 (I. M.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 38 号
2010. 9. 20.

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	赤いコートの女 東京女性ホームレス物語	宮下忠子	明石書店	2106ミ
2	母から娘に伝える人生に大切な 80 の知恵	福島みずほ	岩崎書店	21107
3	女 36 歳からでもキャリアは作れる 夫の失踪、子供 3 人…主婦が大学教授にまるまで	辻三千代	光文社	2202ツ
4	秋田の子供はなぜ塾に行かずに成績がいいのか	浦野弘	講談社	3207ウ
5	楽天力 上手なトシの重ね方	沖藤典子	清流出版	4101ナ
6	奇跡の宅老所「井戸端げんき」物語	伊藤英樹	講談社	4102イ
7	心の病と低血糖症 危ない！砂糖のとりすぎと米ばなれ	大沢博	第三文明社	4203ナ
8	「ふつうの幸せ」を手に入れる 10 のルール しがみつかない生き方	香山リカ	幻冬舎	5101カ
9	一人の声が世界を変えた！	伊藤千尋	新日本出版社	8104イ
10	たっくんのおてつだい 宮野家のえほん	おおさわさとこ	アリス館	6108ナ

ライブラリー

散 歩 道

利 用 ガ イ ド

- ◎利用時間
9:00~20:00
(休館日 9:00~17:00)
- ◎貸出冊数
本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内
- ※どなたでも無料でご利用できます。
- ※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

編集後記
第三十八号をお届けします。この夏は猛暑となり、本を読むのに難儀しました。
貸し出し期間は二週間。読むことが出来ず、更に二週間延長してもらい、それでも読むことが不可能で、あと一週間と頼みこむありさまでした。九月に入っても暑い日が続きました。程々の環境でゆっくり読書を楽しめる至福の秋の到来です。
図書室にもお立ち寄りください。

今月のテーマ

歴史の中の女たちⅢ

—気軽に読める女性史—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア
図書室へのお問い合わせは
〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 電話 0243-23-8308 (図書室直通)

「『元気』をこの手に取り戻すまで」

一診療内科で学んだこと一

石井苗子 ダイヤモンド社

著者は元女優。いわれのないスキャンダルで引退後、医学の道へ。自分再生を成し遂げるまでが語られている。スキャンダルによる猛烈な痛みを、聖路加看護大学に学士入学して国家資格を取得することに向け、更に東大大学院に進学して博士課程を終了後、東京大学医学部客員研究員に就任し、現在は東京都内の診療内科でカウンセラーをしている。

第一章の「カウンセラー修行の日々から」は、受診者への問診、投薬、経過観察のセットで元の身体に戻る、即ち健康を取り戻す過程がよくわかり、そばで笑顔で見守っている著者の温かい雰囲気を感じられる。一般社会と専門医療現場とのコミュニケーションの橋渡し役として、予防医学の考え方を社会一般に広く普及させる仕事をする人を、ヘルソコミュニケーターと言うことも知った。

(K. K.)



「金いろの自画像」—平塚らいてう ことばの花束—

米田佐代子 編 大月書店

平塚らいてうのことば集です。右のページにことばを引き、左のページにいていな解説をつけ、関連する写真も載せている読みやすい本です。

数々のらいてうのことばの中に、倒れても倒れても不死鳥のように立ち上がり、「わたしはわたし」という生き方を貫いた彼女の不屈の魂が宿っています。現在でも、女性なら誰しも、「女だから」「女のくせに」という壁にぶつかって苦しむ経験は多くの場面でありませぬ。そういう時にカブげられることばが、この花束の中からきっと見つかるでしょう。決して古くはない、今に生きていることばの花束です。

なお、「金いろの自画像」というすてきなタイトルは、かの有名な「元始女性は太陽であった」（『青鞥』創刊の辞）の一節、「女性よ、汝の肖像を描くに常に金色の円天井を選ぶことを忘れてはならぬ」をヒントにつけたそうです。

(S. N.)

猛暑の夏も終わり、さわやかな読書の秋になりました。私達の前を歩いていった多くの先達の姿に教えられ、学ぶことは多いですね。

「幸せ探し自分探し」—とやま・家族の肖像—

館野智子 北日本新聞社

人生とは何か、幸せとは何かと深く考える年齢になった著者（40代）が、「富士に暮らす女性の生きざまを描いてみたい」と約1年間取材をした記録です。30代から80代まで43人の女性の人生へのそれぞれの思いに励まされ、勇気づけられながら、自分探しをしています。

就職から、結婚、育児を越えて、離婚の経験、再婚そして家族の介護などと困難をそれぞれがどう乗り越えてきているのが興味深く読みました。

中でも82歳の女性の、夫の死後人との出会いを大切に、正直におごらず生きたいという言葉に「人の生」を感じました。

読後、さて「自分らしさって何？」と自問したくなる瞬間が楽しみかも？

(I. M.)

「何とかなるさ！」—ママは宇宙へ行ってきます—

山崎直子 サンマーク出版

著者の山崎直子さんは、1970年千葉県松戸市生まれで、JAXA 有人宇宙技術部宇宙飛行士である。

今年、夢にまでみた宇宙へ行ったことは皆さんよくご存知のことと思う。彼女は長い間訓練を受け、ようやく宇宙へ行ってきたのであるからその苦労や努力は言うまでもない。でもその時いつも彼女が思っていたのは、「何とかなるさ！」の精神だと言う。そして、周りにいつも感謝することや家族の協力も「夢の実現」にかかせなかったと。

人生大変な時こそ、「何とかなるさ！」で乗り切りたいものである。

(T. Y.)

「私は13歳だった」—少女の戦後史—

樋口恵子 筑摩書房

太平洋戦争—第二次世界大戦—終戦の日、昭和20年8月15日、著者樋口恵子は旧制高等女学校の一年生だった。当時の女学生の日記や著者自身の体験・見聞をもとに、敗戦後の食料も生活物資も何もかも不足した困窮の時代から立ち上がった日本の様子が描かれている。日本女性がはじめて選挙権を行使した昭和21年の4月10日は、東京で花吹雪が舞う日だったこと、義務教育が8年延長された「六・三制」の実施で、高等女学校から併設中学校となり高等学校となっていた学制改革の現場で、教師と生徒がとまどいながらも手探りで新しい教育の形をつくり上げていったこと、自由に意見を述べ合い自主活動が認められ、身なりや建物は粗末でも不思議な活気があった時代だと言う。

大学への進学、社会への踏み出し、結婚、死別、そして評論家として活動する現在まで著者の歩いた道のりは、男女共生を目指す私達の同じ仲間として、共感を持って読んでいただけたらと思う。

(W. T.)



「加藤シズエ 104歳の人生」

—大きな愛と使命に生きて—

加藤シズエ、加藤タキ 著 大和書房

加藤シズエは、明治80年生まれ。17才で男爵夫人となり、後に離婚。47才で労働運動家と再婚。戦争中の「産めよ、増やせよ」の時代に、産児調節運動を進め、戦後、初の女性国会議員になりました。生涯現役政治家を自認し、104才まで、生きることを全うした女性です。綴られているエッセイは戦後史をみるようです。

娘タキが、100才を越える頃からの介護の日々を、ありのままに、愛情を込めて書き表しています。可能なかぎり自立して生きたい、常に社会とかかわりあって生きたいとする母を支える周囲の人々のあれこれが・・・。

何より、素敵だと思ったのは、載せられている写真です。とってもおシャレでチャーミングなのです。いくつになっても・・・なったらばこそその生き方を見た想いがしました。

(A. K.)

☆図書室から本の紹介をします☆

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	今日を生きる	大平光代	中央公論新社	1202ナ
2	「わたし」を生きる女たち～伝記で読むその生涯	楠瀬佳子ほか	世界思想社	1203リ
3	豊かさへ もうひとつの道	暁峻淑子	かもがわ出版	2106テ
4	置き去り～サハリン残留日本女性たちの六十年	吉武輝子	海竜社	1203エ
5	「わたし」を生きるために ～知っておきたい一番たいせつなこと	吉武輝子	ポプラ社	2110エ
6	居場所のちから～生きているだけですごんだ	西野博之	教育史料出版会	3210ニ
7	大切にしたいものは何？（みんなで考えよう①）	鶴見俊輔と中学生たち	晶文社	3210リ
8	幸子さんと私～ある母娘の症状	中山千夏	創出版	5101ナ
9	女三人のシベリア鉄道	森まゆみ	集英社	6102エ
10	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』をよんだら	岩崎夏海	ダイヤモンド社	6102イ

福島県男女共生センター図書室だより

第 39 号
2010. 12. 20

ライブラリー

散 歩 道

利用ガイド

◎利用時間

9:00～20:00

(休館日 前日 9:00～17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内

ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話

の使用はご遠慮ください。

編集後記

酷暑とまで呼ばれた今年の長い夏。農産物などにも大きな影響を及ぼし、太陽をうらめしく思った日々でした。今では、日向が心地よく太陽の恵みをいっぱい受けて幸せを感じます。

年も押しつまってまいりました。このところ幼い子どもや高齢者に対する虐待などの心痛むできごとが絶えず報道されています。

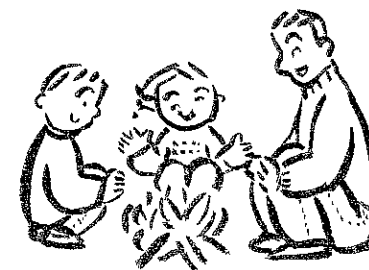
ひとりで悩まず、時宜を得た新刊書が入っている当センターの図書室をたずねてみてください。きっと心に響き、力になれる本に出会うことができますと思います。

よい年をお迎えください。

今月のテーマ

人と人との絆

—さまざまにつながりかた—



発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

分類番号 4103 フ

「生きるって人とつながることだ！」

— 全盲ろうの東大教授・福島智の手触り人生 —

福島 智 森朴社

著者は3歳で右目を9歳で左眼を失明し、18歳で失聴し全盲ろうとなりその後東京都立大学人文学部に合格、盲ろう者でははじめての大学進学者となりました。2008年には東京大学より学術博士号を授与され教授となっております。

「生きることは人とつながることであり、つながりを持つとすると皆み自体に生きる手ごたえがある」というのが、著者が体験をもとにたどりついた実感であるようです。

著者のコミュニケーションの特徴は指（手）で触れることで成り立っています。それで「手触り人生」という副題がついているのです。

人間は一人ひとり本質的にはばらばらであるが、それでも互いに離れ離れにならないようにいつも必死で誰かの手を探し求めながら旅しているというのです。あなたにとってのこのエッセイ集はどんな「手触り」でしょうか。 (K. M.)



分類番号 5101 イ

「身近な人との

人間関係につまずかない 88 の法則

— 愛とやさしさの人間行動学 —

岩月謙司 大和書房

この本を開くとまず目にとびこんでくるのが、「自分の行動をチェックしてみよう！」と題された次の6つの文章である。

- ・心の底からやりたいことをやっているか
- ・見返りを期待しないで行動しているか
- ・誰かに対する腹いせや当てつけてやっていないか
- ・ホンネとタテマエが自分でも区別がつかなくなっていないか
- ・認めてほしくてスタンドプレイをしていないか
- ・相手が心を開いたら私も開いてもいいと思っていないか

これを読んだだけでギクリとする。そしてもっと細かく具体的に書かれた88の短い文章とその説明にますますギクリとさせられる。自分がいかに人間関係につまずく行動をとっているかに気づかせられる。しきりに反省させられる。当然のことが書いてあるようなのだが、ひとつひとつ奥が深い。そんな本である。是非ご一読を。 (S. N.)

「人と人との絆」、口では簡単に言いますが、実際によい絆を長い間持ち続けることは、難しいですね。今年は「無縁社会」という寂しいことばも流行語になりました。

それでも人は、人と何らかのつながりを持たずには生きていけません。さまざまな視点から、絆、つながりの大切さを再認識する手がかりになる本を選びました。どれか一冊でも手に取っていただくと幸いです。

分類番号 4208 ウ

「つながりゆりりと」

— 小さな居場所「サロン・ド・カフェこもれび」の挑戦 —

うつつあきこ 自然食通信社

2008年8月から「NPO法人自立生活サポートセンターもやい」のボランティアスタッフとして活動してきた筆者が「サロン・ド・カフェこもれび」を立ち上げるに至ったいきさつ、そこに集う人達のさまざまなエピソード等を紹介しながら、人間関係の貧困から抜け出して行く人達が、明るく生き生きと交流する様子を描いている。人は他の人とのつながり合いによって生きていく力を得、他の人に認められることによって本来の自分の尊厳を取り戻せるのだということを考えさせられました。 (W. T.)



分類番号 1202 オ

「見えなくても、きこえなくても。」

— 光と音をもたない妻と育んだ絆 —

大平一枝 著 安部まゆみ 写真 主婦と生活社

梅木久代は言葉を覚える盛りの乳児の時に聴力を失った為に、発声もうまく出来ず、その後の視力も低下し、40代で全盲になるが健常者の梅木好彦と出会い、手をつないで手話を学ぶ。彼女のつながれた手の動きから、相手の手話の意味を読みとる触読手話（略して触手話）で、夫とのつつましく楽しい穏やかな今の生活をまとめた本である。白黒写真が効果的で迫力がある。

私は終戦の翌年仙台でヘレン・ケラー女史の講演を聴いている。女学校4年の時で、サリバン先生と指をつなぎ、時々低い声を発しおえると先生は、その内容を伝えるのだが、その時その方法をフィンガープレーと称していた。

仙台市内の女学生と共に感動したこの経験は、講演の内容は記憶にないのだが、私の得がたい宝物となっている。 (K. K.)

分類番号 2119 ク

「山暮らしで人生を変えてみた」

熊谷嘉尚 講談社

作者は、自然の中で仕事と生活を楽しみながら生きていきたいと考え、都会から離れ八ヶ岳山麓で暮らし始めた。

最初は山暮らしに慣れるため、無理をせず自然の中に身をおき、「焦らずに、ゆっくりと！」と始めたのである。しかし、考えていた暮らしと実際は違うことばかり。山暮らしを始める前には期待も大きかったが、暮らし始めると心細さや寂しさなど不安が現実となっていったのである。健康についても同様であった。

同居しているのは犬二匹、山暮らしをより豊かにしてくれる存在。畑のことや草木の名前、育て方などいろいろ教えてくれるのは、周りにいた人であった。学んだのは、「何よりも重要な人の輪」と「遊び心」という。山暮らしの極意を教わった気がした。 (T. Y.)

分類番号 8211 ミJ1

「シリーズ・身をまもる1 暴力や虐待から身をまもる」

安藤由紀 ポプラ社

いじめに悩み、死を選んでしまう子ども、大人の都合のよい言い訳（しつけと称して）で虐待を受けている子どもたちのニュースに胸が痛みます。

この書は、虐待、薬物、いじめ、ストレス、インターネットの危険など現代の子どもたちを取り巻くさまざまな危険をエピソードを交えて、わかりやすく解説したシリーズ5巻のうちの第1巻です。世の中には悪い人もいるということをおえて伝えて、それぞれの危険から自分自身で身を守るにはどうしたらよいかヒントを教えてください。斬新で表情豊かなイラストが文章へと誘います。自分自身を守ることを通して、友達や周囲の人とのつながりを大切に思う気持ちを育ててほしいと筆者は願っています。子どもの心によりそえる大人でありたいと思う方にもぜひ。 (I. M.)

分類番号 1208 ソ

「祖母・母たちの娘時代」— 庶民生活の一つの試み —

湯沢雅彦 創思社

歴史に残る人達というと、それはホンの一握り。歴史書に描かれる人達からも、上級階級や政治・文化・芸術等が見えてくるのみ。普通の人々が何を食べ、どんな風に生きたのかはほとんど述べられていない。本書では庶民生活史を描くことこそ、人間の歩みの価値があると考えられているようだ。

66歳から93歳までの日本女性の「生きてきた道」のぎぎとりが22編まとめられている。編者が郡山女子大に勤務していた時のゼミの学生も、東北各地の祖母たちの話を聞き取っている。地元でなければ表現できないようなニュアンスの言葉づかいで伝えている。(福島出身者は5人) (A. K.)

☆図書室から本の紹介をします☆

福島県男女共生センター図書室だより

第 40 号
2011. 4. 20

番号	書名	著者名	出版社	分類
1	訪問医が見た男の介護・女の介護 夫婦の老後は「語り」が決める	苛原 実	洋泉社	4102イ
2	女ともだち	遙 洋子	法研	1101ハ
3	ふたたび、生きて、愛して、考えたこと	杉原 美津子	トランスビュー	1202ス
4	なぜ、私の歳をきくの？ 年齢不問社会の提言	本田 重道	飛鳥新社	2106ホ
5	女、一生の働き方 貧乏ばあさんから働くハッピーばあさんへ	樋口 恵子	海竜社	2202ヒ
6	結婚の才能	小倉 千加子	朝日新聞出版	3101オ
7	子育てウツからスルリと抜け出す100のコツ つらいのは、あなたのせいじゃない！	主婦の友社／編	主婦の友社	3206コ
8	死にゆく者の礼儀	遙 洋子	筑摩書房	4101ハ
9	スローライフのために「しないこと」	辻 信一	ポプラ社	4201ツ
10	誰かと暮らすということ	伊藤 たかみ	角川書店	6102イ

ライブラリー

散 歩 道

今月のテーマ

人と人との絆Ⅱ

—さまざまなつながりかた—



編集後記

第四十号をお届けします。三月二十日発行の予定で原稿は持ち寄っていたのですが、大震災で遅れました。私の同級生一人の行方がいまもってわかりません。東松島市に住み、子どもさん二人も不明です。友人が私が探していることを、ある新聞の全国版のネット上に掲載してくれているのですが、そちらからの解答もありません。

原発問題も加わって、共生センターも震災以来休館し、避難患者等の受け入れ、被爆スクリーニング会場として協力しました。テレビで事態を見守る時間が多い毎日ですが、ゆっくり読書ができるよう、一日も早い収束が待たれます。

利用ガイド

◎利用時間

9:00~20:00
(休館日前日 9:00~17:00)

◎貸出冊数

本 5冊 15日以内
ビデオ 3本 8日以内

※どなたでも無料でご利用できます。

※図書室内での飲食、携帯電話の使用はご遠慮ください。

発行者：財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター情報紙ボランティア

図書室へのお問い合わせは

〒964-0904 二本松市郭内一丁目 196-1

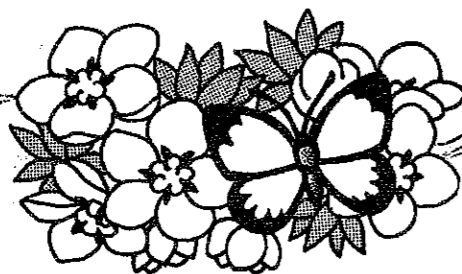
福島県男女共生センター「女と男の未来館」 TEL 0243-23-8308 (図書室直通)

「いどばた考現学」

伊藤雅子 未来社

「トイレをきれいにするとベっぴんになる」と祖母が語った家事の大切さを歌った曲がヒット。長い間先人たちが育んできた生活の知恵や生き方の本が「おばあちゃんの知恵袋」などのタイトルで書店に並んでいます。

この本のタイトルである「いどばた」とは「井戸端会議」のことで、女同士のとりとめのないおしゃべりのこと。くだらない見本のように言われたこともあり、最近では聞かれなくなったことばです。たわいもないおしゃべりの中で、地域の中でのつながりがあり、育児・家事・労働などについての「知恵」(?)の交換の場であり、お互いの助け合いの連帯の意味もあったと述べられています。ヒット曲「トイレの神様」と「いどばた会議」の関係に親近感をおぼえて、この本を手に取りました。(I. M.)



「おひとりさまでもたいじょうぶ」

吉田太一 ポプラ社

昨年絆が稀薄で、人生の最後を孤独に終る多くの事例が社会問題となり、「無縁社会」という現象に私達は胸を痛めたが、この本の著者は遺産整理専門会社社長で孤独死対策の活動を行っている。

「おひとりさま」は決して「おひとりさま」にならないで欲しいという願いをこめて、それを避けるための今から出来ることの実例がまとめられており、その中で親友よりも友達をつくることや、喜怒哀楽を表現できる環境を整えることが大切であるなどが印象に残った。「おひとりさまの老後」の著者上野千鶴子との特別対談は、よみごたえがあり、幾つになっても健康で友達が大量いて、伸びやかにゆっくと人生を送りたいとの思いにさせてくれる本である。

(K. K.)

「絆をもとめて一終のすみかを探す旅」

杉原美津子 風媒社

人と、つながっていたい。
人と、安心して、つながっていたい。
人と、しっかりと、つながっていたい。

シニアハウスや有料老人ホームに終のすみかを求めた人々の人間模様を、「つながり」、「絆」、もっと別なことばで言えば、他人同士の「共生」をテーマに据えて、読みやすく描いています。生活を支える人と支えられる人双方の視点から書かれているのもよい点だと思います。

著者は、1980年8月の東京新宿バス放火事件に遭遇し、全身の80%に火傷を負いながら奇跡的に一命をとりとめました。事件後の深刻な人間不信から、どのように「つながり」の世界に復帰したかが、第5章「絆を育てて一あとがきにかえて」で語られています。まずこの第5章を読んでから本文に入ると、著者の思いにいつそう近づくことができるかもしれません。生涯、人とのつながりを大切に生きたいと考える方に、是非ご一読をおすすめします。(S. N.)

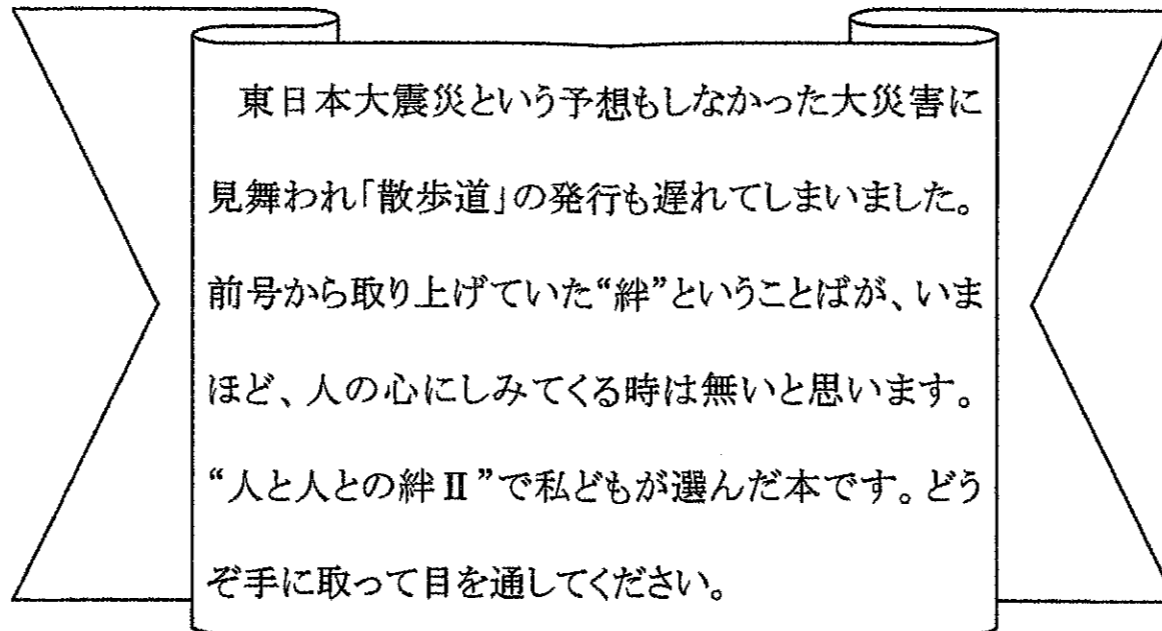
「農産物直売所—それは地域との『出会いの場』—」

関満博 松永桂子 編 新評論

本の最初には、単に「農産物を作って販売する」ことだけではなく、直売所にこめた農村女性たちの「思い」や「地域の自立」を読みとることができるであろうと書かれています。ここでは、全国の11の農産物直売所を紹介していますが、勿論、福島県の直売所もあります、『道の駅よりっせ』の直売所と農村レストランです。

福島県内にはたくさんの農産物直売所があり、売上も年々伸びているといえます。私はこの直売所をよく利用しています、家の近くにも買いに行きますが、遠くに出かけた時に見つけると必ず寄って買い物をします。新鮮で安いこともあるけれど、その土地で取れる種類や旬を知ることもでき、調理方法も表示されているからです。

みなさんも、是非地域にある直売所をのぞいてみてください、楽しい発見があるかもしれません！(T. Y.)



東日本大震災という予想もしなかった大災害に見舞われ「散歩道」の発行も遅れてしまいました。前号から取り上げていた“絆”ということばが、いまほど、人の心にしみてくる時は無いと思います。“人と人との絆Ⅱ”で私どもが選んだ本です。どうぞ手に取って目を通してください。

「佐高信が褒める 今、この人を見よ！」

佐高信 光文社

「夕刊フジ」に連載された「辛口、佐高信の他面他賛」を中心に、「私が推薦するこの人たちから何かを学んで、日本の希望につなげてほしい」66名が載せられている。一人一人に副題がつけられ、政治・経済・文化・・・多方面にわたる方々である。

“大人になりきれなかった人間”土門拳、“強靱でしなやかな個性”姜尚中、“骨のある発言貫き常に「野党で少数派」”おすぎ、“とどめを刺さずに男をもてあそぶコワイ人”上野千鶴子等々。(A. K.)

「幸子さんと私—ある母娘の症例—」

中山千夏 創出版

“幸子さん”は著者の母親である。マザコンという言葉は成人しても母親離れができない息子のことを、やや揶揄的に言う言葉であるが、本書では母と娘の関係において著者が体験した、依存や支配のある壮絶な母娘関係を赤裸々に書き記している。

反発しながらもそこから抜け出せずに長年苦しんだ娘が、母の死後幼時からの記憶をたどり、更に母親の生い立ちを記し、整理しながらようやく個の自分を取り戻して行く様子(自己カウンセリングと名づけている)を記している。人間にとって一番濃い人とのつながりは家族である。それぞれの家族はそれぞれ千差万別であるが、そのつながり方は子ども達それぞれの生き方に深く影響を与えるものだと考えさせられた。

(W. T.)